

## 活動報告

団体名	公益財団法人 大阪 YMCA
活動名	被災した地域のコミュニティの復興を支援するための活動
活動期間	2016/04/16 ~ 2016/06/08
活動の成果	<p>熊本県内最大の避難所運営を行い、一定の衛生と健康への環境整備を行うことができた。ストレスフルな避難住民に対し、健康指導、運動の機会、個別住居整備を行い、クオリティを上げることができた。</p> <p>子どもや高齢者など特別な支援が必要とされている方に対し、居場所づくりや介助を行い、ストレスを軽減することができた。またその取り組みにより、保護者や日常介護者の復旧作業への取り組みを推進する環境が向上した。</p> <p>コミュニティを形成するため、コミュニティスペースやコミュニティプログラムを行い、避難住民内のコミュニケーション向上に努めた。</p> <p>子どものボランティアグループを設立し、子どもが避難所支援を行うことにより、大人のボランティアへの促しを促進することができた。</p> <p>活動当初は避難住民による自主運営を目指したが、時が立つにつれ仕事や学校という日常生活に戻る人が多くなり、日中の避難所内の構成は高齢者や乳幼児またその保護者の割合が多くなった。自主運営を行う働き世代がいないことから、避難住民の自主運営から避難住民の自立への方向転換を行なった。</p> <p>そのことにより、自宅への復帰や仮設への入居が進んだ。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>熊本地震最大の避難所運営支援を行い、最大 1600 名の避難所住民の支援を行った。</p> <p>避難所住民のこどもによるボランティアグループの設立また、益城町役場、日本赤十字社、自衛隊、看護師会、介護士会、薬剤師会などの外部ボランティア組織やグループのコーディネートを行い、協働することにより避難所内のクオリティを高めることができた。</p> <p>避難所運営の課題は多くありますが、今回の皆さまからの寄付により、避難所内住民への支援を行うことができました。ありがとうございます。</p> <p>これからは仮設住宅での支援になりますが、これまでと同じご支援をお願いいたします。</p>

(活動のようす)

